

# 地域おこし協力隊のふくしま散歩!

年が明けてから急に寒くなり、そして年末までの少なかった降雪が一転、いつもの福島町となってしまいました。

さて、私の任期は今年の11月までです。集大成として新たにまちづくり法人を設立することになり、今その準備に明け暮れています。

まちづくりは、その町に住む人全員が参画するものです。それを実現させるための旗振りの組織を目指しています。

現在役場が兼務している観光協会を独立化させ、徹底したお客様目線などを導入した【稼げる観光】を目指します。

更に、町内にあります公共施設の受託管理も想定しており、ハード（施設）とソフト（サービス）両輪からなる一体的で質の高いサービスの実現を目指しています。

いま必要なのは人材です。仕事の傍ら『理事』などとして携わって頂き、法人の方向性やまちづくりの方針等を一緒になって検討して頂ける方と、私と共に働いて頂ける方を必要としています。

そのために、限られた時間内ではありますが町内を回って色々とお話をさせて頂いております。特にこれからの町を背負っていく若い世代の方を中心に、意を共にして福島町を何とかしたいと考えている方は沢山存在すると思います。

法人の設立だけが目的ではありません。観光で人が立ち寄り、「福島町のこれは凄い」ということを口にしてもらうことで、町民の皆さまが「自分の町は凄いな」と改めて感じ、誇りを持って頂く。若い世代の方が地元で働ける場を築く。それが最終目的です。

この件に関してご意見ご協力はもとより、興味が湧いた方は気兼ねなく私までどうぞ。町民の皆さんの力があって初めて達成できるものですから。福島町をより良い町へ一緒に変えていきましょう！！



地域おこし協力隊  
川端 教文

3月26日に待ちに待った北海道新幹線が新函館北斗まで開通します。

そしてそれに合わせるように先日、道南追分ルートがシーニックバイウェイ推奨ルートとして認定されました。

シーニックバイウェイとは直訳すると景色の良い寄り道という意味で、各地の景観・自然・文化・イベントなどを紹介しながら地域の活性化を目指すドライブコースです。

北海道では道南エリアだけ認定されていなかったんですが、地元の方々や関係各所の方々の努力により申請から実に8年掛けての認定となりました。

新幹線で北海道に来た人達に車でシーニックバイウェイルートを巡ってもらおうと、木古内駅と新函館北斗駅の近くにレンタカー店がオープンしました。

今後福島町にもレンタカーに乗った観光客が来てくれるかもしれませんね。

最近、福島町の黒米が札幌での売り上げを伸ばしてきています。

生産者の方々の努力と地道に販売促進会を行ってきた結果が出始めてきているのだと思います。

今年も早速1月7日～12日まで札幌の丸井今井内のきたキッチンにて黒米と横綱椎茸の販売会を行って来ましたが、試食品も好評で横綱椎茸は品切れになり、黒米はご存知の方が多かったのも嬉しい限りでした。



地域おこし協力隊  
野口 和也



▲札幌での黒米・横綱椎茸の販売会の様子